

令和7年度下半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市中央青少年会館	所管課	教育委員会事務局社会・青少年教育課
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
選定方法	公募 ☐ 非公募 ☒		
料金制	☒ 使用料 利用料金 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	36,546,345円		
施設の設置目的	青少年の健全な育成を図り、市民の教養の向上に資する。		
施設概要	貸 室;ホール、研修室(3)、練習室(2)、会議室(2)、和室(2) フリースペース;若者チャレンジ室、ボランティアスタッフルーム、スタディールーム、COZYルーム、 ミニキッチン、ラウンジ		

●利用状況

		R7 下半期	R7 上半期	R6 下半期	R6 上半期	R5 下半期
利用者数(単位:人)		17,812	17,657	17,542	15,142	16,882
各室稼働状況(%)	会議室1	50.5	53.7	60.7	59.5	56.1
	会議室2	50.5	53.7	34.9	42.7	61.0
	和室1	46.7	51.5	32.9	29.5	27.8
	和室2	46.7	51.5	38.5	37.5	38.1
	研修室1	42.3	32.9	35.6	38.6	40.1
	研修室2	44.1	38.3	38.6	40.3	38.3
	研修室3	47.7	41.0	42.6	41.5	36.1
	練習室1	71.4	69.3	64.8	62.1	73.7
	練習室2	73.4	75.4	72.0	66.9	73.8
ホール		75.4	70.7	72.8	65.7	75.8

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	① 開館日・開館時間の遵守 ② 適切な人員配置 ③ 広報の方策 ④ 苦情への対応	① 岐阜市青少年会館条例施行規則を遵守している。 ② 勤務ローテーション表を使用するなどして、計画的に人員を配置している。また、教員OBや社会福祉資格を有する職員を配置し、その経験や専門性を活かせるよう配慮している。 一般職員 2人 (社会福祉士 1人、社会福祉主事 1人) 普通嘱託職員 2人 臨時職員 2人 (全6人のうち教員資格保有者 1人 うち教職OB 1人) ③ 広報ぎふ、館内掲示、チラシ、ホームページ、SNS等で広く提供している。 ④ アンケートを実施し、要望や苦情を把握、速やかに対応している。 また、毎月館内会議を開き、他の館の事象を参考に協議し、接客態度の向上や苦情対応に努めている。
指定事業・自主事業	指定事業 ① 青少年団体や青少年育成団体の活動拠点 ② 自立支援が必要とされる若者への支援	指定事業 ① 活動拠点支援事業 ※()内は前年度下半期 ・下半期利用状況:利用者数 17,812 (17,542)人 (団体、個人) 利用団体数 927 (1,041)団体 ・高校生・大学生の利用拡大(演劇、ダンスなど) ・学習ルーム及び若者の利用形態の多角化 ② 若者対象支援事業 ※()内は前年度下半期 ・若者チャレンジアップ講座:下半期 9(6)講座開催 参加者延べ 117(84)人 ・フリースペース等の個人利用:利用者数 5,835(4,515)人

指定事業 ・自主事業	③ 自立支援が必要な若者の家族やその支援者への支援 ④ 青少年への学びの場の提供 ⑤ 市の中核的青少年会館としての役割の実施 自主事業 ① 子ども会サポートプラン ② 中青フェスタ	・エールぎふ・草潤中学校との連携 ・エールぎふとの情報共有・連絡会議の実施 ・エールぎふ通所者への居場所(COZYルーム)の提供 ・「エールぎふネットワーク会議」への参加、情報共有 ・草潤中学校「草潤マルシェ」協力 ③ ・主に青少年とその保護者を対象とした教育相談 下半期相談件数: 50(46)件 ④ 青少年の学びを支援 ※()内は前年度下半期 ・学習拠点支援事業 ・小中高大生にスタディールームや空き部屋を学習室として提供 下半期利用者数 2,075(1,537)人 ・サタデー・サンデースクール 困り感のある子どもにとってサードプレイスとなるよう実施 下半期利用者数 63(37)人 ・オンライン学習支援「おもしろ教室」の配信 ⑤ 4館との連携 ・館長会での情報共有や事業実施、施設管理方法等の協議 ・5館での事業実施(サタデー・サンデースクール、青年講座、子ども会サポートプランなど) ・エールぎふとの連携を強化し、サードプレイス機能の充実を図っている。 自主事業 ※()内は前年度下半期 ① 子ども会サポートプラン 下半期サポート件数 5(6)件 ② 中青フェスタ 延べ参加者 275(226)人 ・バレーンアート体験、大道芸体験、バンド演奏、合唱披露、ダンスショー、エイサー披露・体験、屋台など中央青少年会館の講座参加者や利用者の発表も増え、多くの来場者があった。
施設管理	① 日常・定期清掃業務 ② 警備業務 ③ ねずみ、害虫等の防除等 下記の観点からの修繕実施状況 - 迅速な修繕の実施 - 指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	① 日常清掃:施設内外の清掃を実施 施設利用後の消毒作業の実施 定期清掃:アダプトプログラムによる「明德ポケットパーク」の清掃 ② 日常点検:出勤時と退勤時に安全点検を実施 ③ 害虫等を発見した場合はその都度捕殺を実施 - 適切な新型コロナウイルス感染拡大防止策の継続 - 職員による安全点検の実施 - 医薬品(応急処置用、熱中症対応用保冷剤等)の常備 - 防災用品(ラジオ、懐中電灯、緊急持ち出し袋等)の常備 - 防犯用品(さすまた、催涙スプレー)の常備 - 吐しゃ物処理セットの常備(ノロウイルス対策) その他、施設・設備等の管理については、仕様書・事業計画書のとおり業務を遂行している。 ○ 迅速な修繕の実施(利用者からの指摘) - 対話を重視し、その中から要望等の聞き取りを行っている。 - アンケートに施設への要望等の欄を設け、ニーズや不備を迅速に把握し対応している。 - 日常点検において安全確保に努めており、不備を発見した場合は可能な限り職員で修繕対応を行っている。 修繕実績(業者による対応) - 玄関自動ドア マグネットセンサー取替修繕 12,650円 - 電源ブレーカー 配線工事修繕 187,000円

施設管理		○ 職員による主な修繕・整備事項 ・ エアコンフィルター洗浄 ・ 利用後の消毒清掃 ・ 換気扇洗浄 ・ 除草、樹木伐採 ・ カーデンクリーニング
危機管理・法令遵守	① 個人情報の保護 ② 非常時の対応策 ③ 関係法令の遵守	① ・ 個人情報の保護体制について、窓口での表示やホームページでの公開を実施 ・ 「特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針」「特定個人情報取扱規程」を制定 ・ 個人情報保護担当者を配置 ・ 「個人情報保護宣言」表示を継続 ② ・ 適切な新型コロナウイルス感染拡大防止策の継続 ・ 職員による安全点検の実施 ・ 医薬品（応急処置用、熱中症対応用保冷剤等）の常備 ・ 防災用品（ラジオ、懐中電灯、緊急持ち出し袋等）の常備 ・ 防犯用品（さすまた、催涙スプレー）の常備 ・ 吐しゃ物処理セットの常備（ノロウイルス対策） ・ 「青少年会館危機管理マニュアル」の設置 ③ ・ 「不当要求防止責任者選任事業所」プレート設置継続 ・ 岐阜市青少年会館条例及び施行規則に則り、「青少年会館業務マニュアル」を作成し、利用上の諸問題やトラブルへの対応について対策を共通理解し、職員全員が同様の対応ができるよう努めている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	① 施設利用者アンケート ・ 全ての施設利用団体(代表者)にアンケートを実施 ② 主催事業参加者アンケート ・ 講座参加者にアンケートを実施 ③ 「常設アンケート」 ・ 来館者全員を対象に常設のアンケート実施と聞き取りでの調査 ① 施設利用者アンケート 891件 「利用回数について」 初めて:23件2.6% 複数回:868件 97.4% 「全体の満足度について」 <u>大変満足:79.1%</u> <u>満足:20.9%</u> 不満:0.0% 大変不満:0.0% (100.0%) 「施設設備について」 <u>大変満足:79.2%</u> <u>満足:20.8%</u> 不満:0.0% 大変不満:0.0% (100.0%) 「職員の対応について」 <u>大変満足:80.0%</u> <u>満足:20.0%</u> 不満:0.0% 大変不満:0.0% (100.0%) 【主な感想】 ・ 2階の研修室の利用はくつを脱ぐので冬は足が冷えます。 ⇒ 2階は床が絨毯になっており、衛生上くつでの使用ができなくなっております。ご理解ください。 ・ 青少年が無料で利用できて、部屋もきれいで本当に感激です。これからもよろしく願います。 ⇒ 利用者の皆様が清潔に使っていただき、職員も清潔な環境を心がけております。ありがとうございます。 ・ 臨機応変な対応に感謝しております。ほか感謝の声多数 ⇒ これからも「利用してよかった」と思える中青を目指していきます。ありがとうございました。 ・ 自習室のおかげでとても集中して勉強ができて無事大学に合格することができました。ありがとうございました。 ⇒ 合格おめでとうございます。これからも勉強しやすい環境を整えたいと思います。 ② 主催事業参加者アンケート ■ 若者支援クローズアップ交流会「みんなの学校」 参加人数25人 (①とてもよかった・②よかった・③あまりよくなかった・④よくなかった) 「講座の満足度」 <u>①:76.0%</u> <u>②:24.0%</u> ③:0.0% ④:0.0% (100.0%)
---------------	--

	【主な感想】 ・ 自分だけ(中学生で)年齢差があつたけれど、馴染んで話し合うことができました。障がいをもった子たちについて、教育関係者以外と話す機会はなかなかないので、この交流会に来て良かったと思いました。 ・ 映画を通して「みんなの学校」という新しい学校を知れて、とても良かったです。貴重な経験を気軽にできる企画をしていただけて、ありがたいです。交流会でも、様々な考えの人と交流できました。 ■ 若者チャレンジアップ講座 全9回:参加人数延べ117人 【主な感想】 ・ 活動内容が本格的で良かったです。 ・ 先生の皆さんが(音楽のことを)ゆっくり教えてくれてとても助かりました。 ・ お金の講座で様々なためになる話を聞くことができた。ゲームも他の仲間と楽しめて良かった。また来たい。 ・ ドラムの上達に向けてもっと進歩することができた。 ・ 来るたびに新しいことを学べている。ドラムもかなり上達して、新しく曲も覚えつつある。この調子でもっと上達したい。 ・ ここでは、なにひとつ強制ではなく、できるだけ意見を聞いてくれるのでいいです。 ③ 常設アンケート 実施期間:通年 回収枚数:5枚 「利用回数について」 初めて:3件 60.0% 複数回:2件 40.0% 「年齢層区分」 小・中学生:3件 60.0% 高校生・大学生:2件 40.0% 一般:0件 0.0% 「全体の満足度」 満足:100.0% やや満足:0.0% やや不満:0.0% 不満:0.0% (100.0%) 【主な感想】 ・ 壁の模様がわいいし集中できたので良かったです。 ⇒ ありがとうございます。今後も気持ちの良い環境を整えていきたいと思います。 ・ 自習室のおかげでとても集中できて大学に合格できたと思います。 ⇒ 合格おめでとうございます。今後も静かで集中できる環境を整えていきたいと思います。 ・ 自習室に来るとやる気が出ます。職員の人とも話せて嬉しいです。 ⇒ 何か相談があれば職員に気軽に声をかけてください。
利用者からの要望・苦情と対処・改善	利用者から寄せられた意見等に対して、軽微な要望、修理、改修等については職員で速やかに対応するほか、業者対応を要するものについては見積りを依頼し、後日対応している。 【主な意見と対応】 ・ 練習室1の床の板が一部ささくれていて、利用者の方が擦り傷をされた。 ⇒ ご迷惑をおかけしました。業者に依頼して修繕しました。今後も不備がございましたらお知らせください。すぐに対応いたします。

前回までの意見を踏まえた取組み状況	評価委員会の意見 ○ 子ども会の育成者の方が、どのように活動すればいいのかわからない悩みを抱えているので、困ったら相談してもらえるようにPRできれば、少しでも悩みが解決するのではないかと。 ⇒ 毎年事業団の自主財源を活用した「子ども会サポートプラン」という冊子を作成し、活動内容や講師の充実を図っています。子ども会の育成者の方にその冊子を配付しており、多くの問い合わせや相談があり、喜ばれております。
今後の取り組み	・ 青少年の活動拠点としての利用促進 ・ 青少年がふらっと立ち寄ってみたいくなる施設及び仕掛けづくりの推進 ・ エールぎふや草潤中学校・ドリームシアター岐阜等青少年が関わっている機関との連携の推進

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
I 公平性	住民の平等利用が確保	(1)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	年少者から高齢者、障がい者など幅広い層に、要望、改善点についての意見を聞き、これをもとに協議して、円滑で公正な施設運営に努めているか。	A	A	
		(2)情報公開、広報の方策	利用規程、主催事業案内、活動内容等をパンフレットやホームページ、広報ぎふ等に掲載し、情報提供を図っているか。	A	A	

公平性 透明性	利用が確保 されること	(3)個人情報保護するための方策	個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	A	A	
		(4)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	
		区分評価				
Ⅱ 効果性	事業計画書の 内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(1)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	各種講座の充実・拡大、相談室の開設により青少年の健全育成に寄与しているか。	S	S	
		(2)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者・講座受講生に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。	A	A	
		(3)利用者に対するサービス向上の方策	講座受講生や利用団体に対しアンケートを実施し、要望や満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしているか。	S	S	
		(4)利用促進、利用者増の方策	施設紹介や主催事業のPR活動とともに、新規の事業開拓に努め、利用拡大を図っているか。	S	S	
		(5)サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	質の高いサービスを維持するために、利用者の声や意見を把握し、施設運営に取り入れるシステムや相談窓口を設けている。	A	A	
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	青少年会館の設置目的を踏まえつつ効率の良い施設管理を行うために、管理及び運営にバランスのとれた人材を配置しているか。	S	S	
		(7)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	
		区分評価				
Ⅲ 効率性	事業計画書の 内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	(1)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービスを低下することなく、コストの縮減に努めているか。	A	A	
		(2)収支計画の妥当性	削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	A	A	
		(3)管理経費縮減の具体的方策	安定性・安全性を損なわない範囲で、具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	A	A	
		(4)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	
		区分評価				
Ⅳ 安定性 安全性	事業計画書に 沿った管理を安定して 行う物的能力、人的能力 を有していること	(1)経営基盤の安定性	公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門的能力を有しているか。	A	A	
		(2)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当や勤務時間を工夫し、より効率よく業務ができるように配置しているか。	A	A	
		(3)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	各職員の専門知識や経験が職務分担に活かされているか。	A	A	
		(4)スタッフの管理、監督体制	より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができているか。	A	A	
		(5)スタッフの人材育成の方策	各種職員研修会を行い、職員の資質向上を目的とした研修計画書が作成されているか。	A	A	
		(6)リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	夜間防犯対策・安全点検・館内外の巡回・日常清掃・消防訓練等を実施しているか。また緊急事態における対応が確認されているか。	A	A	
		(7)リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	①会社更生法や民事再生法、破産法に基づき更生、再生、破産手続きの申立てをしていないか。 ②市税等の滞納はないか。	A	A	
		(8)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	
		区分評価				

V 貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元の法人や青少年団体、ボランティア組織等との連携に努めるとともに、その育成に取り組んでいるか。	A	A	
		(2)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元の住民等の雇用に留意しているか。	A	A	
		(3)地元での資材等の調達	資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意しているか。	A	A	
		(4)地元での社会活動等への参加	地元で実施される社会活動等への積極的な参加に努めているか。	A	A	
		(5)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	
		区分評価				

今期の取組みに対するA以外の評価

Ⅱ 効果性(事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること)

(1) 既存業務の改善、工夫または新規の魅力的な提案の有無、内容

各種講座の充実・拡大、相談室の開設により青少年の健全育成に寄与しているか。

履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
【充実】 青少年の利用拡大 青少年の健全育成、若者の社会的自立を支援するため、青少年のための施設整備や利用拡大に努めた結果、 青少年の利用者数が大幅に増加した。 ・新たな施設整備;若者団体のための「みんなの掲示板」設置、COZYルームでの机・椅子の追加。 ・学生ボランティアにサタデースクールや中青フェスタへの参加協力をお願いした。 ・高校部活動へのPR、高校文化祭クラス発表練習場のロコミ広がり、青年演劇グループの練習会場、多様なニーズにこたえる自主学习環境整備 など、青少年が使いやすい、また来たくなる施設となるよう、環境を整備し、PRに努めた。	R6年度下半期 【青少年利用】 総利用人数 10,495人 団体数 638団体 個人利用者数 4,515人	R7年度下半期 【青少年利用】 総利用人数 13,207人 団体数 745団体 個人利用者数 5,835人 ・若者団体のための「みんなの掲示板」の新たな設置 ・周りを気にせず学習するための机・椅子の追加	S
【継続・充実】 若者チャレンジアップ講座の充実 今年度より、「NPO法人コミュニティサポートスクエアわおん」に加え、「一般社団法人ナラティブ・ラボ」に講師依頼し、講座を展開している。岐阜開成学院の生徒ともつながり、月に3回開催する講座日以外にも自主的に活動するため来館している。10月5日開催の「ぼくらのごちゃまぜフェスティバル」(岐阜市市民活動支援事業)や11月29日開催の「中青フェスタ」で音楽やダンスパフォーマンス発表をした。イベントに向けて個人や仲間との練習を通して、人と人との関わりが自己肯定感や自己有用感の醸成を育み、継続的な居場所支援となっている。	令和6年度下半期 若者チャレンジアップ講座6講座の実施	令和7年度下半期 若者チャレンジアップ講座9講座の実施 ・自主的に活動 ・チャレンジアップ講座や施設利用者の「中青フェスタ」での発表継続的居場所支援	
所管課の意見			評価
施設整備や備品整備を積極的に行ったこと、また、青少年育成団体との繋がりを積極的に構築したことにより、利用者の増加や、新たな事業の発展に繋がっており、その点を大いに評価したい。			S

Ⅱ 効果性(事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること)

(3) 利用者に対するサービス向上の方策

講座受講生や利用団体に対しアンケートを実施し、要望や満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしているか。

履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
【継続】 3種類のアンケートを聴取し、その結果をもとに対応をしている。 さらに、来館する青少年とのコミュニケーションをとる中での会話を重視し、「もっとこんなものがあるといい」「こんなことに困っている」を具現化することで、サービスの向上を図っている。 ・施設利用者アンケート(団体代表者が記入) ・事業参加者アンケート(事業参加者が記入) ・常設アンケート(いつでもだれでも記入し投函)		アンケートや聞き取りによって改善した例 ・練習室1の床のささくれの修繕 ・団体の登録用紙と申し込み用紙の記入例を作成し利用者が書きやすいようにする。	S
【充実】 アンケートに加え利用者の声から、改善案やサービス向上策を、館内会議などで提案、実行し、利用者の満足度アップに繋げている。 (R7下半期一例) ・臨機応変な対応に感謝しています。⇒今後も団体の要望を聴き、当日の施設利用状況を見て柔軟に対応 ・練習室1の床の一部にささくれができた。⇒業者に依頼して修繕	R6年度下半期 施設利用者アンケート 利用者満足度 99.9%	R7年度下半期 施設利用者アンケート 利用者満足度 100.0%	
所管課の意見			評価
アンケートの内容をもとに、改善に取り組んでいるほか、様々な改善が実をむすび、利用者満足度が非常に高く推移している点を評価した。			S

Ⅱ 効果性(事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること)

(4) 利用促進、利用者増の方策

施設紹介や主催事業のPR活動とともに、新規の事業開拓に努め、利用拡大を図っているか。

指定管理者の意見			
履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
【新規・継続】 青少年の利用を促進するためのPR活動 ・チラシやポスターを作成し、他施設での配架・掲示 ・ホームページ掲載 ・岐阜市咲楽への掲載 ・広報さふへの掲載 ・SNS(Instagram)での投稿 ・ 【新規】他施設イベント時の「青少年会館PRブース」 ・ 高校部活動や青少年支援団体への直接アピール(効果大) などを継続して行っている。	令和6年度下半期 【青少年利用】 総利用人数 10,495人 団体数 638団体 個人利用者数 4,515人	令和7年度下半期 【青少年利用】 総利用人数 13,207人 団体数 745団体 個人利用者数 5,835人 ドリームシアター岐阜との連携により、ドリームフェスタ冬イベントにおいて「青少年会館PRブース」を設置	S
【新規・継続】 岐阜市の施策を応援するInstagramの活用 岐阜市青少年会館Instagramでは、各種講座の募集やその様子、利用方法案内、居場所情報の発信など、様々な情報を発信している。 新たな試みとして、岐阜市が主催する「二十歳のつどい」について、申し込みのお願いチラシを来館者に配布し、さらに情報を広く拡散するため、青少年会館のInstagramにて情報発信した。	令和6年度下半期 なし	令和7年度下半期 新たな試みとして、岐阜市の青少年に関わる情報をInstagramで発信	
所管課の意見			評価
多様な発信方法を工夫し、広報に努めた結果、利用者の増加に繋がっており、その点を評価したい。			S

Ⅱ 効果性(事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること)

(6) 施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置

青少年会館の設置目的を踏まえつつ効率の良い施設管理を行うために、管理及び運営にバランスの取れた人材を配置しているか。

指定管理者の意見			
履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
【充実】 ユースワーカー養成講習会修了者2名の配置 若者のいまとこれからを支える「ユースワーカー」は、若者に関わる心構えや支援方法、寄り添い方を身に着けたスタッフであり、全国のユースワーカーと実践省察を通して学び続ける。 今年度より2名のスタッフを配置し 、青少年の育成やサポートを行った。	R6下半期 なし	R7下半期 2名配置 知識を生かし、若者との関わり方や興味関心を持つ仕掛けづくりに取り組んでいる	S
【継続】 教員OB、福祉関連資格保有者の配置 様々な悩みや問題を抱える青少年や若者と関わる上で、福祉関連の専門知識を持つ職員を新たに配置し、教員OBスタッフとともに、青少年の相談業務やエールぎふ、草潤中学校との関わりや講座の実施などの業務を行った。 ・社会福祉士、社会福祉主事任用資格 2名 ・児童福祉司 1名 ・介護福祉士 1名 ・教員OB 1名	R6下半期 ・社会福祉主事任用資格 1名 ・教員OB1名	R7下半期 ・ 社会福祉士 、社会福祉主事任用資格 2名 ・ 児童福祉司 1名 ・ 介護福祉士 1名 ・教員OB 1名 専門知識を生かした相談や対応方法の確立に取り組んでいる	
所管課の意見			評価
ユースワーカー要請講習会に参加したスタッフを新たに配置した他、相談支援やエールぎふとの連携に資する資格者を充実されており、その点を評価したい。			S

●指定管理者評価委員会の意見

- ・退職教員や社会福祉分野の専門人材の活用は評価でき、今後の事業効果や利用者支援のさらなる充実が期待される。
- ・ユースワーカーの配置について、その専門性を活かした青少年の育成・支援の取組を推進されたい。
- ・事業の参加申込方法については、オンライン申請など利用しやすい仕組みの整備・周知が望まれる。
- ・主体性や課題が多様化する若者に対し、それぞれの状況に応じたきめ細かな支援を行うことが重要である。